

つれづれ

平成28年12月20日(火)

他者のことを考えて

先日、我が家のコンポ（コンポーネントステレオ）が壊れてしまいました。10年前に購入したにも関わらず、これまで故障もなく、丈夫だなと思っていた矢先のことでした。

まだまだ捨てる気はありません。修理に出して現役復帰させるべく、メーカーのサポートセンターに連絡しました。すると、製造終了後8年間は部品を保管しているそうですが、それより後は部品がないため修理できないとの返答でした。困り果てたものの、部品がないのではどうしようもありません。

ところで、本田技研工業（Honda）が、1990年から2005年まで生産していたNSXというスポーツカーがあります。先ほどのコンポの話と同じく、車についても部品の保有年数が決まっており、それが終わってしまうと純正部品での修理が難しくなります。場合によっては、修理が不可能になります。しかし、このNSXについては少し事情が違います。

NSXは量産車として世界初のオールアルミボディを採用しました。スポーツカーの必須条件である軽くて丈夫なボディを実現するためです。当時の開発者は「このボディは35年は持つ」と言ったそうです。そこで、企業としての責任を果たすため、2040年までこの車の部品を作り続けるというのです。企業としては、決して儲かる話ではありませんが、これがHondaという企業の姿勢なのかもしれません。

この企業の創業者は、本田宗一郎さんです。すばらしい経営者であるとともに、一流の技術者でした。この人の言葉に「創って喜び、売って喜び、買って喜び」という言葉があります。この言葉は、Hondaの会社経営の基本理念として、ホームページにも掲載されています。

目先の利益だけにとらわれず、消費者の立場を考えたこのようなHondaの対応は、「自分のことだけ考えず、他者のことを考えた生き方」と言い換えれば、皆さんの日常にも活かせるのではないのでしょうか。



<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【大阪市教育委員会 天下茶屋中学校】で検索



QR code

天下茶屋中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762750>